

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	市単土地改良事業	会計	一般会計	事業No.	550	施策順No.	11-061
		事業種別	政策・重点	予算科目	6-1-7-18-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	土木課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	農業施設で整備及び補修が必要な施設 農地及び農業従事者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		農家戸数:戸		4890	4890	4890	4890		
		耕作面積:ha		2595	2595	2595	2595		
意図		維持労力の節減等営農の効率化を図るため、農業施設の改修・補修を行う							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		実施か所数:か所	354	386	354	300	321	300	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	目標を達成できた								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	小規模な農道整備、かんがい排水路等農業施設の整備・補修により、農地の保全を進めるとともに、生産基盤・生産条件の改善を進め、農作業の効率化を図る。 緊急度が高く、投資効果の高い順に整備を進める。また、関係者による地元施工に対して、必要な資材の支給を行う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 工事施工 (1)用排水路整備 (2)農道整備 (3)鋼製構造物改修 (4)ため池改修 (5)道水路補修 2 水路清掃業務委託 3 道水路補修用資材支給	1 工事個所数 (1) 工事個所数 (2) 工事個所数 (3) 工事個所数 (4) 工事個所数 (5) 工事個所数 2 業務委託個所数 3 支給個所数	1 (1) 22カ所 (2) 5カ所 (3) 5カ所 (4) 1カ所 (5) 174カ所 2 22カ所 3 92カ所
23年度実施計画	1 農業用施設整備・補修 (1)用排水路整備 (2)農道整備 (3)鋼製構造物改修 (4)ため池補修 (5)道水路補修 2 水路清掃業務委託 3 道水路補修用資材支給	1 工事個所数 (1) 工事個所数 (2) 工事個所数 (3) 工事個所数 (4) 工事個所数 (5) 工事個所数 2 業務委託個所数 3 支給個所数	1 (1) 20カ所 (2) 5カ所 (3) 4カ所 (4) 1カ所 (5) 170カ所 2 20カ所 3 80カ所

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (国)地域活性化・きめ細かな臨時交付金(10/10) 21→22繰越明許費 25,000千円
	国庫支出金		34,000	33,990		
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		74,870	74,817	74,400		
計(A)		108,870	108,807	74,400		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			108,807			

4 事業に対する市民や議会の意見

過疎化や農家の高齢化等の進展により、農業用施設の保全管理が困難になり、老朽化が一層進み、地区からの要望が年々増加している。
---------------------------------------------------------------

**5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】**

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

**6 前期4年間の取組評価(総括)**

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	荷痛みの解消、営農の合理化による増収が図れ、荒廃・遊休農地の増加が抑制される →事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	既存農業者の産出額(農業):億円
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	農業施設を改修することにより、維持労力の節減等営農の効率化を図れ、おおむね要望された箇所が実施できた。		
	後期に向けた課題	過疎化や農家の高齢化等の進展により、農業用施設の保全管理が困難になり、老朽化が一層進み、地区からの改修要望が多く寄せられているため、計画的な事業実施。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	工法等の見直しによる、コストの縮減。		
	後期に向けた課題	より一層の工法等の見直しと、コストの縮減による事業促進。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	経費の縮減と再生材の使用。		
	後期に向けた課題	さらなる経費の縮減と再生材の使用。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	飯田市の施設であり、飯田市で工事する。		
	後期に向けた課題	引き続き飯田市で関与し工事する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	農業振興地域内の農業施設を改修することにより、維持労力の節減等営農の効率化を図れ、おおむね要望された箇所が実施できた。		
	後期に向けた課題	過疎化や農家の高齢化等の進展により、農業用施設の保全管理が困難になり、老朽化が一層進み、地区からの改修要望が多く寄せられているため、計画的な事業実施。		

**7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認**

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

**8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画**

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------